

様式第3号（第9条関係）

会 議 録

会 議 名 嵐山町立学校統合準備委員会 第3回総務部会						
開 催 日 時	令和6年12月10日（火）		開 会	午後 5時00分		
			閉 会	午後 6時02分		
開 催 場 所	嵐山町役場 町民ホール					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 （1）新小中学校の校名募集結果について （2）1次選考について （3）2次選考について （4）その他 4 閉 会					
公開・非公開 の別	公 開		傍聴者数		なし	
非公開の理由 （非公開の場合）						
委員出欠状況	部 会 長	林 雄一 (随行 須長雅紀教頭)	出	委 員	八木原 夏実	出
	委 員	戸坂 千寿子	出	委 員	安藤 淳之介	出
	委 員	石森 奈通子	出	委 員	高橋 誠	出
	委 員	関根 盛敏	出	委 員	横澤 紗智子	出
	委 員	荒川 統	出	委 員	高田 享 (代理 木村由香利教頭)	出

	委 員	西川 光治	出	委 員	小野川 和史 (代理 松本信昭教頭)	出
事 務 局	教 育 長	下村 治		教育総務課 課長	高橋 喜代美	
	副課長	尾針 雄介		指導主事	吉井 大輔	
	指導主事	神田 貴裕		主 任	吉野 祐介	
	主 任	篠崎 照				
次 第	て ん 末					
1 開 会	事務局					
2 あいさつ	林部会長					
3 議題 (1) 新小中学校の学校名について		林部会長が議長となり、議事を進行。 事務局より、(1) 新小中学校の学校名について、資料に基づき説明。 ・資料1 学校名(案)募集結果について ・資料2 学校名(案)募集一覧 事務局の説明後、質疑を諮り、以下質疑応答。				
	安藤委員	報告になるが、校名案募集に際し、「菅谷小学校」と記載するのは基準外と聞いていたが、一般の方から言わせると、そのようなやり方はどうなのだろうか、という意見を周りの方々からいただいた。このような基準があったから「菅谷小学校」と書かない人がいたという事実があったことだけお伝えする。				
	林部会長	「菅谷小学校」となると、統合ではなく吸収合併的なイメージになるような気がする。				
	安藤委員	私も周りからこのような意見をもらった時は、その都度ご説明させていただいたが、そもそも「菅谷小学校」と書いてはいけないというのは何なのか?ということ言われた。意見をくれた方々には、会議で報告する旨をお伝えした。				
	林部会長	承知した。事務局もこのような意見があったことを承知しておくこと。				

	下村教育長	本日の会議に議決案件は一つもないが、本日は出てきた案について、委員の皆さんから様々な意見をいただきたいと思っている。良し悪しの感想や意見でも良いので、そういったことをもとに、1次選考では皆さんに投票していただきたい。なお、令和2年度に実施した校名募集で出された案も今回は同等に取り扱いたいので、それらも含めたもので進めていく。
	須長教頭	校名はわかりやすいものが良い。漢字になると「嵐山」は「らんざん」とも「あらしやま」とも読むことができる。読み方が重なるのはもったいないので、私は「らんざん」が全面に出る案が良いと思う。また、候補を見ると「むさし」が付くのも良いと感じた。
	松本教頭	一つ確認だが、町はこの先も「らんまる」をキャラクターとして使っていく方向性はあるか。仮に「らんまる小学校」が採用された場合に、今後町で新たなマスコットキャラクターができた際はどうなるのだろうかと思っている。
	事務局	校名は総務部会と統合準備委員会で案を固めた後、教育委員会へ報告し、最終的には総合教育会議で決まる予定となっている。その時点で行政の考えが反映されることになるので、例えば、「らんまる小学校」が案として最後まで残り、総合教育会議において町がこれからも「らんまる」を使っていくことが確認されれば、それは採用される可能性はあるかと思う。
	下村教育長	選考基準の話で補足させていただく。案の中には「小等部」「中等部」といったものがあるが、町としては新校を義務教育学校にはしない予定であるので、極力選ばない方が混乱を避けられるのかなと考えている。
	安藤委員	地元に根付く、誇りを持っていくということであれば、「嵐山」が入っていた方が良いと思う。表記についても本来の地名表記である漢字表記の「嵐山」が良い。地元愛も根付いていくと思う。
	関根委員	私も漢字表記が良いと思う。表記には元々の意味があり、それを変えるのは良くない。また、京都府に「嵐山（あらしやま）小学校」があるので、漢字表記ならば「武蔵」を付けた方が良いと思うが、「武蔵」の文字が難しいから平仮名にするというのは違うと思う。小学1年生でも「武蔵」と書くことができれば一つの自信、誇らしさにもつながる。ちなみに、アルファベット表記は可能か？

	事務局	要綱でアルファベット表記は定めていない。
	安藤委員	「武蔵嵐山」について、東武鉄道が駅名としてすでに使用しているが、商標登録等で問題ないか。
	事務局	確認したところ商標登録はされていないので、選考には問題ない。
	松本教頭	「オオムラサキ」はいかがか。
	事務局	同じく、商標登録はされていない。
(2) 1次選考について	事務局	事務局より、(2) 1次選考について、資料に基づき説明。 ・資料3 令和11年4月開校 嵐山町立小学校・中学校 校名候補選考【第1次選考】 事務局の説明後、質疑を諮り、以下質疑応答。
	関根委員	選考は1つでも可能か。
	事務局	3校名以内なので、1つでも可能。
	下村教育長	次の2次選考及び町民投票の際の選択肢をできるだけ多く残しておきたいことを考慮すると、1次選考では可能な限り3校名の選考をお願いしたい。
(3) 2次選考について	事務局	事務局より、(3) 2次選考について、資料に基づき説明。 ・資料4 学校名選定プロセス 事務局の説明後、質疑を諮り、以下質疑応答。
	松本教頭	出てきた校名案数の141票が多いのか少ないのかはわからないが、例えば町民投票の結果、141票の投票しなかった場合でも、こういった結果であったということを、町民の意見として次の会議へ上げていくのか。それとも、141票では町民の数と比較してあまりにも少ないが、これで良いのだろうかとなるのか。ここの部分を確認したい。
	事務局	町民の投票結果は、あくまで教育委員会と総合教育会議の参考資料という位置づけで進めていく。投票の結果の重みについてはこれらの会議で判断されるものと考えている。
	松本教頭	校名は基本的に、今回出た案と令和2年度に募集した案の中から決まるということで、ここに出てきていないものからは選ばれることはないという認識でよろしいか。ここにはないものがこの先、突然ポンと出てくることもあるのか。
	事務局	総合教育会議の結論が、ここに出された案以外の結論に落ち着く可能性は0ではないと考えている。
	松本教頭	募集して得た案の中から決めなければ、この部会の意味がないのではないか。
	事務局	行政的な立場の方は、こういった募集の場に意見は出してこないと考えている。教育委員会と総合教育会議の参考資

		料とは言っても、部会でまとめた案は重みのあるものと捉えている。
	下村教育長	県外の自治体だが、校名が決まり、学校設置条例の改正をした後に、議員さんが地域から声を集め、この学校名は不適切であるということで二転三転した例があったことを承知している。案の募集を行い、1次選考で委員さんが選んだものの中から決まっていくことと思うが、県外にはこういった事例もあるので、100%そうなるとは言いきれないと考えている。ご理解いただきたい。
	林部会長	委員の皆さんは校名募集について、保護者の方々から様々な意見をいただいていることと思うが、今回の選考は、そういった保護者の方々の意見を加味したものではなく、付度なしで、これが良いと思った3票を投票すればよろしいか。
	事務局	そういった部分についても、各委員さんの考えのもと、投票していただきたい。
(4) その他	事務局	町民への校名候補投票は、1月20日（月）から2月9日（日）の期間で実施し、その集計を事務局において、2月10日（月）から2月14日（金）の期間で行う。その集計結果をもとに、総務部会において校名候補決定と、統合準備委員会へ結果を報告、及びその承認をいただく。 次回の総務部会と統合準備委員会は2月17日（月）の週で、できれば同日に行いたいと考えている。日程の調整をお願いしたい。
		事務局より、委員へ日程調整を行い、 ・総務部会 2月19日（水）17時00分～17時30分 ・統合準備委員会 2月19日（水）17時30分～ 以上の日程で開催することとなった。
4 閉 会	事務局	

以上、会議のてん末を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和7年/月29日

部会長 林 雄一

